

令和に誕生した最新型液肥！ 韋駄天液肥441

N:4 P:4 K:1

期待できる効果

低分子核酸成分「イノシン」
が根に活力を与え、
低分子アミノ酸「グリシン」は
作物品質に寄与し、土壤微生物環境も豊かにします。

窒素は硝酸態、アンモニア態、
アミノ酸態のバランス配合。
リン酸は利用効率の高い亜リン酸も使用(全P中35%以上)。

- ①初期成育の向上
- ②収量UP
- ③ない疲れの抑制
- ④耐病性・対候性強化
- ⑤食味の向上

使用事例①キュウリ

場所:岩手県花巻市
7~10日間隔で慣行液肥の
代わりに韋駄天液肥を2ℓ施用。

栽培終了後の株元の根の様子



韋駄天液肥区 未使用区
主茎からの根数
試験区45本 対照区38本

根が18%増量！！

夏の息切れ回避!! (8月撮影)



韋駄天液肥区



未使用区

☆生産者様の感想

- ・7月下旬以降キュウリの樹勢が落ち、S品の比率が多くなるが、韋駄天液肥区はM、L品が多く収穫できており、着果の段階でも違いが判る。
- ・8月上旬になると未使用区は先細り果・曲がり果が多くなったが、韋駄天液肥区は実の形状が良く、秀品率が高かった。

使用事例②ナス

試験住所：宮城県石巻市
10～14日間隔で慣行液肥の代わりに
韋駄天液肥を2.5リットル施用。

栽培終盤でも高い秀品率を記録
(10月中旬撮影)



韋駄天液肥区



未使用区

☆生産者様の感想

収穫期の終盤になって、韋駄天液肥区と未使用区で品質、収量に明確な差が出た。韋駄天液肥区はA品率が高い。

低分子核酸成分「イノシン」

核酸はすべての生物（私たち人間もです）が細胞分裂に必要とする、重要な物質です。

韋駄天液肥441には、植物が吸収利用しやすい**低分子核酸成分「イノシン」**が豊富に含まれています。

韋駄天液肥の使い方

本圃栽培時

10aあたり1回で原液2.5KG、500～1000倍程度に薄めて灌水・灌注施用。

1ヶ月に2～3回の施用が効果的です。